

**令和6年度  
福祉職場への就職希望者意向調査  
報告書**

令和7年3月

社会福祉法人北海道社会福祉協議会

北海道福祉人材センター

## はじめに

---

近年、少子高齢化の進行により労働人口が減少し、福祉・介護分野における人材の確保がますます重要な課題となっています。さらに、現在は福祉業界に限らず、さまざまな業界で人手不足が深刻化し、優れた人材を確保するための競争が激しさを増しています。

北海道においても、新卒者に限らず、キャリアチェンジを目指す方や未就業者など、幅広い層が福祉・介護分野で活躍できるよう、多様な人材確保の取り組みが求められています。

このたび、本会では、福祉職場への就職を希望する求職者の意向や就職活動の現状を把握し、求職者一人ひとりのニーズに応じた支援を行うとともに、求人事業所における人材確保の取り組みに役立てていただくことを目的として、本調査を実施いたしました。

本調査結果が、福祉職場の求人活動や人材確保に向けた対策の一助となり、より魅力的な職場づくりにつながることを願っております。

最後に、本調査にご協力いただきました求職登録者の皆様をはじめ、関係各位に心より感謝申し上げます。

令和7年3月

---

## 調査の概要

---

### 1. 調査の目的

少子高齢化が進む中、福祉・介護サービスの需要は拡大しており、これに対応する人材の確保が福祉職場における重要な課題となっています。

本調査では、福祉職場への就職を希望する方々を対象に、就職にあたっての意向や就職活動の状況を把握することで、求職者への支援、求人側の理解促進につなげていくことを目的に実施します。

### 2. 実施主体

社会福祉法人北海道社会福祉協議会（北海道委託事業）

### 3. 調査対象

- ・北海道福祉人材センター・バンクに登録している求職登録者
- ・北海道福祉人材センター介護福祉士届等出制度登録者
- ・調査期間中の福祉職場説明会参加者 等

### 4. 調査期間

令和6年7月16日(火)～9月30日(月)

### 5. 調査方法

調査票（WEB）によるアンケート調査

### 6. 調査票有効回収数

172件

## 調査結果のポイント

### 1. 回答者の状況について

#### (1) 性別・年齢・居住地 (4～6ページ) 問1, 2, 3

- ・回答者全体の約7割を「女性」が占めた。
- ・年齢構成では、「50歳代」が30.8%と最も多く、ついで「40歳代」が27.3%であった。また、40代以上の登録者は合わせて70.3%となり、高い割合となった。
- ・居住地域については、「石狩（札幌市含む）」が82.6%と最も多かった。

#### (2) 現在の就労状況及び勤務経験・希望分野 (7～10ページ、22～23ページ) 問4, 5, 10

- ・現在の就労状況では、「就労していない（無職）」の割合が50.6%と最も高く、ついで「福祉の職場に勤務（正規職員）」が25.6%となった。「福祉以外の職場に勤務」している割合は、10.5%であった。
- ・男女別にみると、「就労していない（無職）」の割合は男性の47.2%に対し、女性は53.0%とやや高くなっていった。  
一方、「福祉の職場に勤務する（正規職員）」の割合は、男性が35.8%で、女性は20.9%と男性の方が高かった。また、「非正規職員（フルタイム、パートタイム）」の割合は、男性が7.6%に対して、女性は15.7%と女性の方が高い傾向にあった。
- ・年齢別にみると、30～40歳代以外の年代では「無職」の割合が5割を超えていた。
- ・福祉職場の勤務経験については、「勤務経験あり」が55.2%となった。
- ・希望する分野では、「高齢者福祉施設（36.6%）」が最も高く、ついで「障がい者福祉施設（20.9%）」、「児童福祉施設（保育所以外）（14.0%）」の順となった。

#### (3) 希望雇用形態及び通勤時間 (24～29ページ) 問11, 12, 13

- ・希望する雇用形態は、「正職員」が58.7%と最も多く、ついで「非常勤職員（パートタイム）」が14.5%となった。
- ・「勤務形態に夜勤・宿直がある場合の対応は」という問いに対しては、「対応可」が51.7%で、「不可」が39.5%であった。また、「不可」と回答した割合は、男性よりも女性で高くなっている。
- ・希望する（許容できる）通勤時間は、「30分～1時間未満」が46.5%で最も多く、ついで「15分～30分未満」が43.0%となった。全体の93.6%が1時間以内の通勤を希望していた。

#### (4) 希望賃金・月収 (30～31ページ) 問14

- ・「20万円～25万円未満」が48.8%と最も多く、ついで「15万円～20万円未満（23.8%）」、「10万円～15万円未満（10.5%）」となった。
- ・60歳代は「5万円～25万円未満」の範囲で均衡している。これは、生活費補填のための就業や、社会参加・生きがいを目的とした就業など、多様な動機があるためと考えられる。

## 2. 求職活動と福祉の仕事に対する意識について

### (1) 求職活動している(いた)理由(11~13ページ) 問6

- ・求職活動している(いた)理由は、「その他」割合が最も高く、ついで「労働条件(給与・待遇含む)が不満(27.3%)」、「仕事内容が不満(23.8%)」、「職場の人間関係が不満(21.5%)」となった。
- ・「その他」の主な理由としては、「資格を取得し、資格を生かした職業に就くため」「定年退職後のセカンドキャリアのため」「通勤や体力的に大変だったため」などがあげられた。
- ・年代、性別によって割合に多少の違いはあるものの、「仕事内容が不満」「労働条件」「職場の人間関係」が上位を占めており、職場定着のためには、働きやすい労働環境の整備や、スキルアップに関する支援が求められることがわかった。

### (2) 福祉の仕事への興味・就職に関心を持った理由(14~17ページ) 問7, 8

- ・福祉の仕事への興味を5段階で尋ねたところ、最も興味がある「5」と回答した割合が64.5%と最も高かった。これは、アンケート回答者が職場説明会、当センター登録者だからであるといえる。
- ・福祉分野での就職に関心をもった理由として、「人や社会に役立つ仕事がしたい(52.3%)」が最も高く、ついで「やりがいのある仕事である(42.4%)」、「資格・技能を生かせる(35.5%)」となった。
- ・3番目に男性では「生きがい・社会参加となる(32.1%)」が高く、女性では「資格・技能を生かせる(41.7%)」の割合が高かった。

### (3) 就職先を選ぶ上で重視する事柄(18~21ページ) 問9

- ・就職先を選ぶ際に最も重視することは、「賃金・賞与額(66.9%)」が最も高く、ついで「休日・休暇日数(57.0%)」、「勤務日数・労働時間(52.9%)」、「仕事の内容(38.4%)」、「通勤距離、通勤の便利さ(37.2%)」であった。
- ・「その他」の回答として、「虐待や不正請求などが無いこと」、「無理に昇進をされない」などがあげられた。
- ・福祉分野への就職に関心を持った理由として「人や社会の役に立つ仕事がしたい」という思い(問8)を持ちながらも、収入や働きやすさといった労働条件がより重視されていることがわかった。

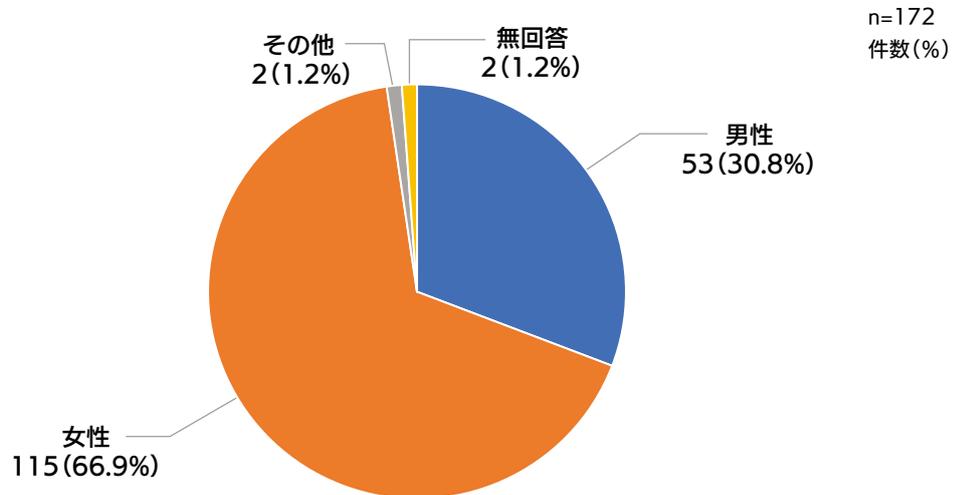
### (4) 現在の就職活動や、就職活動にあたり困っている点(32~37ページ) 問15, 16

- ・就職活動の方法としては、「ハローワークの利用」が59.3%と最も割合が高く、ついで「福祉人材センターの利用(40.1%)」、「インターネットの就職支援サイトの利用(36.6%)」となった。
- ・20歳代は、「学校に相談」「福祉の就職説明会やガイダンスへの参加」の割合が高く、若年層(学生)の傾向が見られた。
- ・就職活動するうえで困っていることとしては、「勤務先が地理的に遠いものが多い(33.7%)」が最も高く、ついで「希望にあう賃金条件が少ない(33.1%)」、「資格の制限がある(29.1%)」となった。
- ・「その他」の回答には、「日勤中心の仕事が少ない」「社会福祉協議会の情報が少ない」「運転免許を必須する求人が多い」「福祉職をするかの迷っている」などがあげられた。

## 問1 あなたの「性別」は？【1つ】

1. 男性 2. 女性 3. その他

● 図表1-1 単純集計



★性別については「女性」が66.9%と高い比率となった。

● 図表1-2 年齢別クロス集計

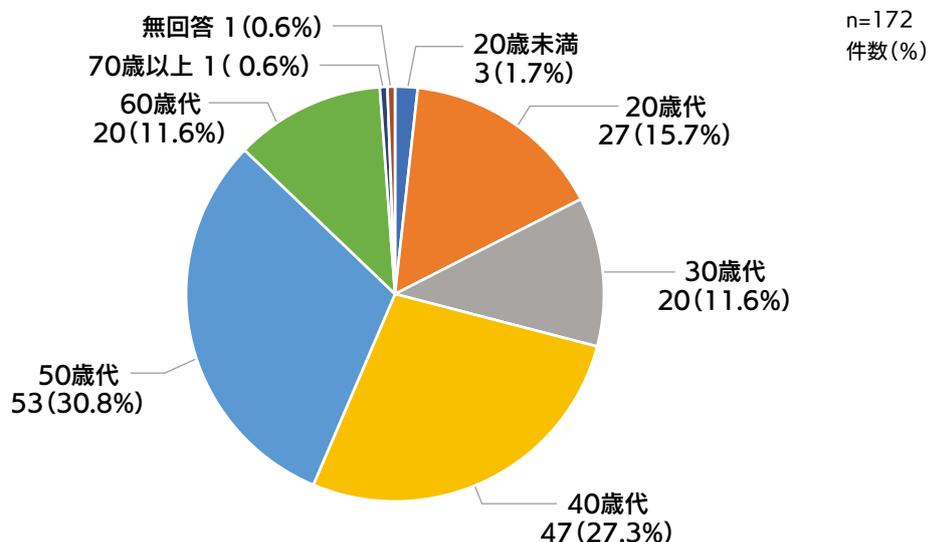
区分	回答数	男性	女性	その他	無回答
20歳未満	3	3			
		100.0%			
20歳代	27	6	21		
		22.2%	77.8%		
30歳代	20	4	13	1	2
		20.0%	65.0%	5.0%	10.0%
40歳代	47	21	26		
		44.7%	55.3%		
50歳代	53	10	42	1	
		18.9%	79.2%	1.9%	
60歳代	20	8	12		
		40.0%	60.0%		
70歳以上	1	1			
		100.0%			
無回答	1		1		
			100.0%		
合計	172	53	115	2	2
		30.8%	66.9%	1.2%	1.2%

年齢別にみると、ほとんどの年齢で「女性」の割合が50%以上となり、特に「50代」では79.2%と高かった。

## 問2 あなたの「満年齢」は？（令和6年7月1日現在）【1つ】

1. 20歳未満    2. 20歳代    3. 30歳代    4. 40歳代    5. 50歳代    6. 60歳代  
7. 70歳以上

● 図表2-1 単純集計



★年齢については、「50歳代」が30.8%、ついで「40歳代」が27.3%と高い割合を示した。また、40代以上の登録者が合わせて70.3%と高い割合となっている。

● 図表2-2 性別クロス集計

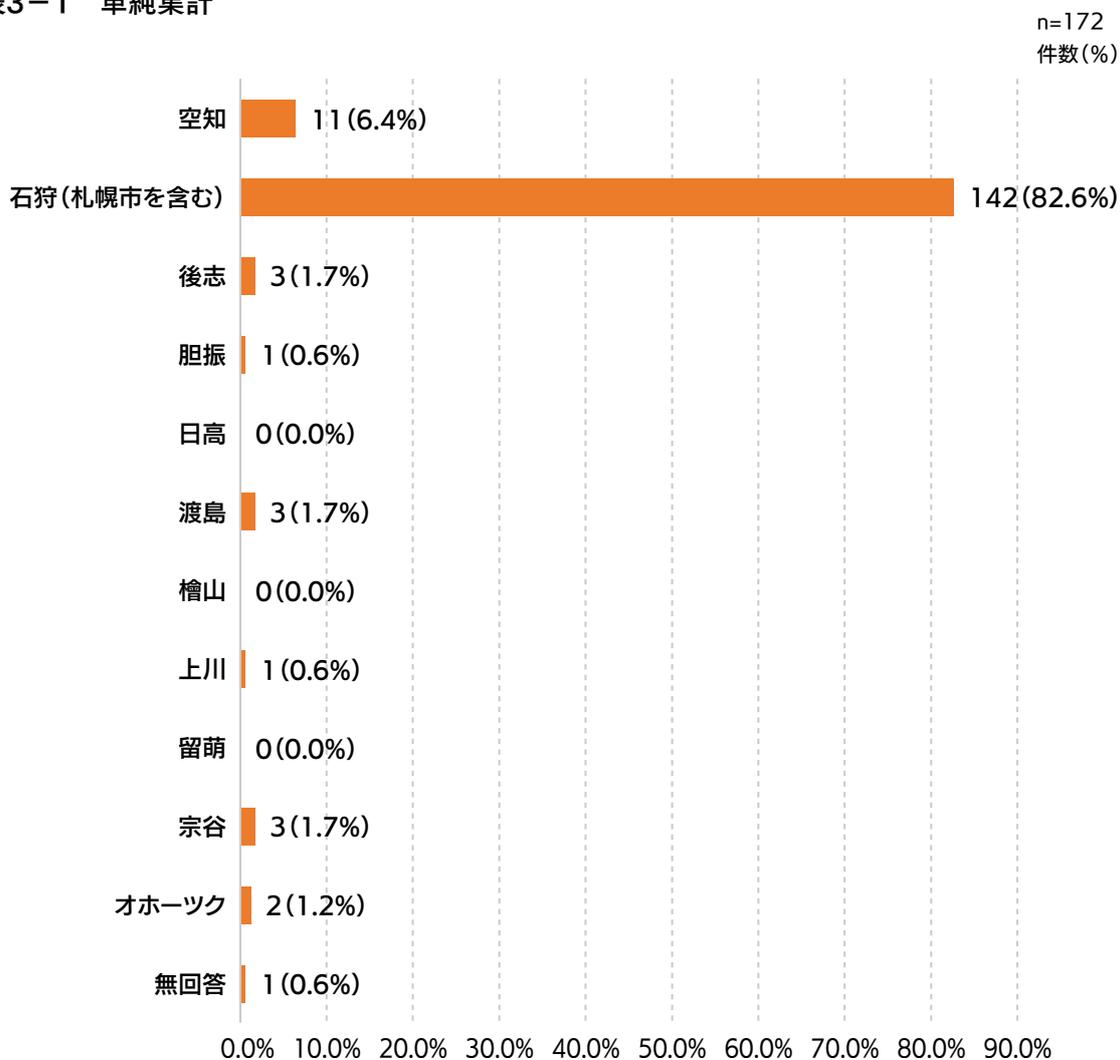
区分	回答数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
男性	53	3 5.7%	6 11.3%	4 7.5%	21 39.6%	10 18.9%	8 15.1%	1 1.9%	
女性	115		21 18.3%	13 11.3%	26 22.6%	42 36.5%	12 10.4%		1 0.9%
その他	2			1 50.0%		1 50.0%			
無回答	2			2 100.0%					
合計	172	3 1.7%	27 15.7%	20 11.6%	47 27.3%	53 30.8%	20 11.6%	1 0.6%	1 0.6%

男女別にみると、男性では「40歳代」の割合が39.6%と高く、40歳代以上が75.5%を占めている。女性では「50歳代」が36.5%と最も高く、ついで「40歳代」22.6%であった。

### 問3 あなたが現在住んでいる「地域（振興局）」は？【1つ】

1. 空知 2. 石狩（札幌市を含む） 3. 後志 4. 胆振 5. 日高 6. 渡島  
7. 檜山 8. 上川 9. 留萌 10. 宗谷 11. オホーツク 12. 十勝 13. 釧路  
14. 根室 15. 道外（都府県名 ）

● 図表3-1 単純集計

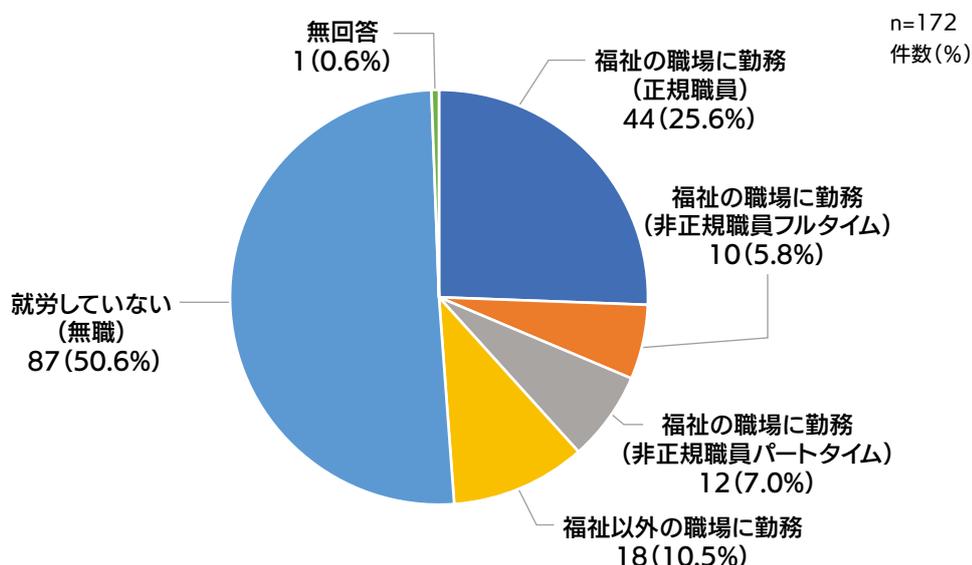


★居住地については「石狩（札幌市含む）」の割合が最も高く82.6%となった。

## 問4 あなたの現在の就労状況は？【1つ】

1. 福祉の職場に勤務（正規職員）
2. 福祉の職場に勤務（非正規職員 フルタイム）
3. 福祉の職場に勤務（非正規職員 パートタイム）
4. 福祉以外の職場に勤務
5. 就労していない（無職）

● 図表4-1 単純集計



★現在の就労状況については、「就労していない（無職）」の割合が50.6%と最も高く、ついで「福祉の職場に勤務（正規職員）」が25.6%となっている。「福祉以外の職場に勤務」している割合は、10.5%であった。

● 図表4-2 性別クロス集計

区分	回答数	福祉の職場に勤務 (正規職員)	福祉の職場に勤務 (非正規職員フルタイム)	福祉の職場に勤務 (非正規職員パートタイム)	福祉以外の職場に勤務	就労していない (無職)	無回答
男性	53	19 35.8%	3 5.7%	1 1.9%	5 9.4%	25 47.2%	
女性	115	24 20.9%	7 6.1%	11 9.6%	11 9.6%	61 53.0%	1 0.9%
その他	2				1 50.0%	1 50.0%	
無回答	2	1 50.0%			1 50.0%		
合計	172	44 25.6%	10 5.8%	12 7.0%	18 10.5%	87 50.6%	1 0.6%

男女別で見ると、「就労していない（無職）」の割合は男性が47.2%、女性が53.0%と女性の方がやや高かった。

「福祉の職場に勤務する（正規職員）」の割合は、男性が35.8%、女性が20.9%と男性の方が高く、非正規職員（フルタイム、パートタイム）は女性の割合が15.7%で、男性の7.6%よりも高くなっている。

● 図表4-3 年齢別クロス集計

区分	回答数	福祉の職場 に勤務(正規 職員)	福祉の職場 に勤務(非正 規職員 フル タイム)	福祉の職場 に勤務(非正 規職員 パー トタイム)	福祉以外の 職場に勤務	就労してい ない(無職)	無回答
20歳未満	3				1 33.3%	2 66.7%	
20歳代	27	5 18.5%				21 77.8%	1 3.7%
30歳代	20	9 45.0%	3 15.0%	2 10.0%	4 20.0%	2 10.0%	
40歳代	47	11 23.4%	2 4.3%	4 8.5%	9 19.1%	21 44.7%	
50歳代	53	15 28.3%	3 5.7%	3 5.7%	4 7.5%	28 52.8%	
60歳代	20	3 15.0%	2 10.0%	2 10.0%		13 65.0%	
70歳以上	1			1 100.0%			
無回答	1	1 100.0%					
合計	172	44 25.6%	10 5.8%	12 7.0%	18 10.5%	87 50.6%	1 0.6%

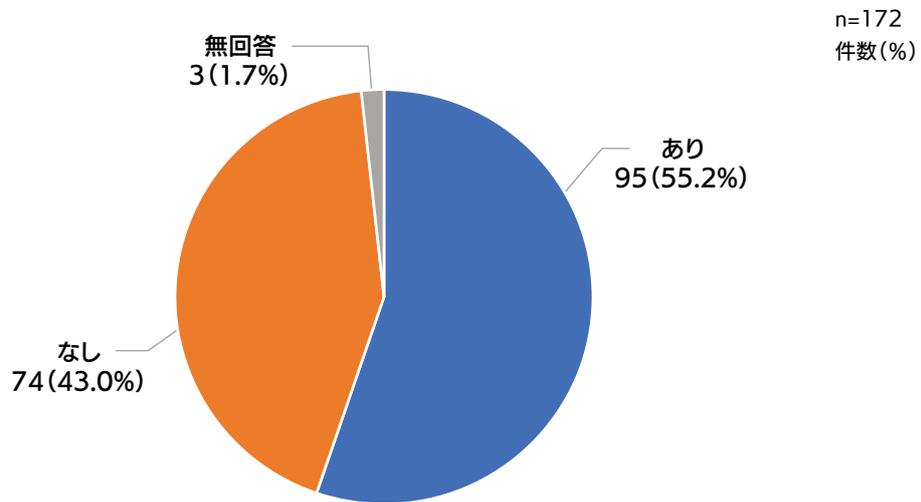
年齢別にみると、「就労していない（無職）」の割合が、30歳代が10.0%と他の年代より低く、40歳代以上では無職の割合が増え、特に60歳代では65.0%となった。

「福祉の職場に勤務する（正規職員）」は、30歳代が最も高く、ついで50歳代であった。

## 問5 福祉分野における勤務経験は？【1つ】

1.あり 2.なし

●図表5-1 単純集計



★福祉分野における勤務経験については、「経験あり」が55.2%、「経験なし」が43.0%となった。

●図表5-2 性別クロス集計

区分	回答数	あり	なし	無回答
男性	53	32	21	
		60.4%	39.6%	
女性	115	61	51	3
		53.0%	44.3%	2.6%
その他	2	1	1	
		50.0%	50.0%	
無回答	2	1	1	
		50.0%	50.0%	
合計	172	95	74	3
		55.2%	43.0%	1.7%

男女別でみると、「経験あり」は男性が60.4%、女性が53.0%と男性の方がやや高かった。

● 図表5-3 年齢別クロス集計

区分	回答数	あり	なし	無回答
20歳未満	3		3 100.0%	
20歳代	27	7 25.9%	19 70.4%	1 3.7%
30歳代	20	14 70.0%	5 25.0%	1 5.0%
40歳代	47	27 57.4%	20 42.6%	
50歳代	53	33 62.3%	20 37.7%	
60歳代	20	13 65.0%	7 35.0%	
70歳以上	1	1 100.0%		
無回答	1			1 100.0%
合計	172	95 55.2%	74 43.0%	3 1.7%

年代別で見ると、30歳代以上では「経験あり」の割合が「経験なし」を上回り、20歳代では「経験なし」が多数を占めた。

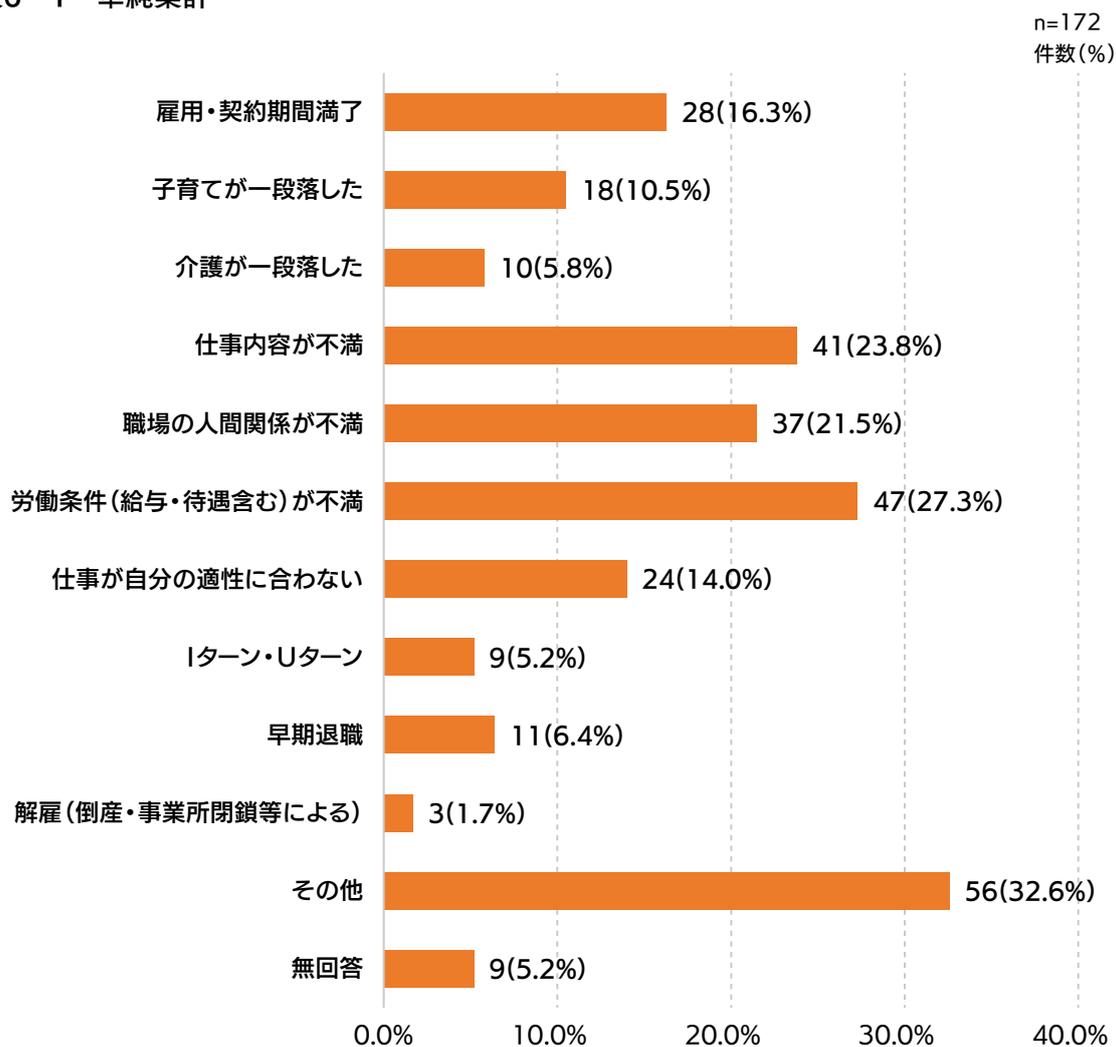
## 問6 求職活動をしている（いた）理由は？【3つ】

1. 雇用・契約期間満了    2. 子育てが一段落した    3. 介護が一段落した    4. 仕事内容が不満  
 5. 職場の人間関係が不満    6. 労働条件（給与・待遇含む）が不満  
 7. 仕事が自分の適性に合わない    8. Iターン<sup>\*1</sup>・Uターン<sup>\*2</sup>    9. 早期退職  
 10. 解雇（倒産・事業所閉鎖等による）    11. その他（    )

※1 Iターン：出身地とは別の地方に移り住み就職すること

※2 Uターン：地方から都市部へ移住した者が再び地方の生まれ故郷に戻り就職すること

● 図表6-1 単純集計



★求職活動している（いた）理由は、「その他」割合が最も高く、ついで「労働条件（給与・待遇含む）が不満（27.3%）」、「仕事内容が不満（23.8%）」、「職場の人間関係が不満（21.5%）」となった。「その他」の主な理由としては、「資格を取得し、資格を生かした職業に就くため」「定年退職後のセカンドキャリアのため」「通勤や体力的に大変だったため」などがあげられた。

● 図表6-2 性別クロス集計

区分	回答数	雇用・契約 期間満了	子育てが 一段落した	介護が 一段落した	仕事内容が 不満	職場の人間 関係が不満	労働条件 (給与・待遇 含む)が不満
男性	53	11 20.8%	1 1.9%	1 1.9%	19 35.8%	14 26.4%	17 32.1%
女性	115	15 13.0%	16 13.9%	9 7.8%	22 19.1%	22 19.1%	29 25.2%
その他	2	1 50.0%	1 50.0%				
無回答	2	1 50.0%				1 50.0%	1 50.0%
合計	172	28 16.3%	18 10.5%	10 5.8%	41 23.8%	37 21.5%	47 27.3%

区分	仕事が 自分の適性 に合わない	Iターン・U ターン	早期退職	解雇(倒産・ 事業所閉鎖 等による)	その他	無回答
男性	10 18.9%	1 1.9%	7 13.2%		15 28.3%	2 3.8%
女性	13 11.3%	8 7.0%	4 3.5%	3 2.6%	41 35.7%	7 6.1%
その他						
無回答	1 50.0%					
合計	24 14.0%	9 5.2%	11 6.4%	3 1.7%	56 32.6%	9 5.2%

男女別でみると、「その他」を除き、男性は「仕事内容が不満(35.8%)」、ついで「労働条件(給与・待遇含む)が不満(32.1%)」、「職場の人間関係が不満(26.4%)」となった。女性では「労働条件(給与・待遇含む)が不満(25.2%)」、ついで「仕事内容が不満(19.1%)」、「職場の人間関係が不満(19.1%)」となった。

男女共に「仕事内容」「労働条件」「職場の人間関係」の上位3つが大きな理由となっている。

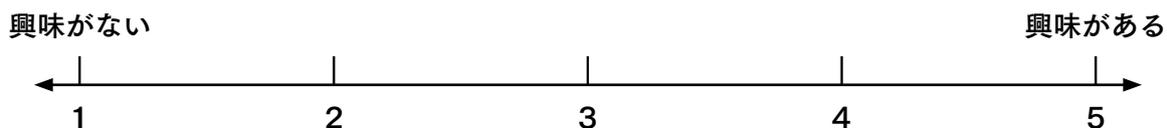
● 図表6-3 年齢別クロス集計

区分	回答数	雇用・契約 期間満了	子育てが 一段落した	介護が 一段落した	仕事内容が 不満	職場の人間 関係が不満	労働条件 (給与・待遇 含む)が不満
20歳未満	3						
20歳代	27	1 3.7%	1 3.7%		3 11.1%	5 18.5%	2 7.4%
30歳代	20	1 5.0%	5 25.0%	2 10.0%	9 45.0%	10 50.0%	10 50.0%
40歳代	47	9 19.1%	7 14.9%	4 8.5%	13 27.7%	10 21.3%	18 38.3%
50歳代	53	8 15.1%	5 9.4%	4 7.5%	12 22.6%	10 18.9%	15 28.3%
60歳代	20	9 45.0%			3 15.0%	1 5.0%	1 5.0%
70歳以上	1				1 100.0%	1 100.0%	
無回答	1						1 100.0%
合計	172	28 16.3%	18 10.5%	10 5.8%	41 23.8%	37 21.5%	47 27.3%

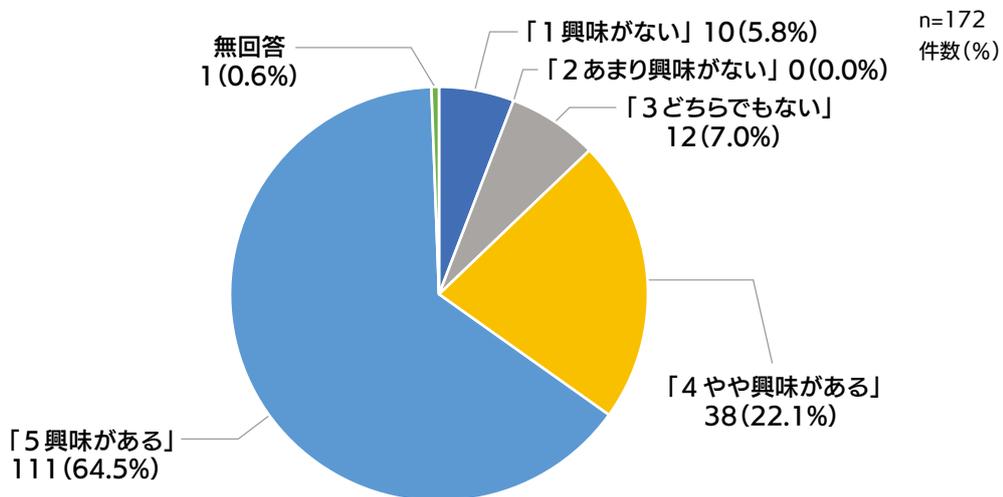
区分	仕事が自分 の適性に合 わない	Iターン・ Uターン	早期退職	解雇(倒産・ 事業所閉鎖 等による)	その他	無回答
20歳未満					2 66.7%	1 33.3%
20歳代	2 7.4%				15 55.6%	4 14.8%
30歳代	5 25.0%		2 10.0%		4 20.0%	
40歳代	10 21.3%	1 2.1%	5 10.6%	1 2.1%	11 23.4%	1 2.1%
50歳代	6 11.3%	7 13.2%	3 5.7%	2 3.8%	14 26.4%	1 1.9%
60歳代	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%		9 45.0%	2 10.0%
70歳以上					1 100.0%	
無回答						
合計	24 14.0%	9 5.2%	11 6.4%	3 1.7%	56 32.6%	9 5.2%

年代によって割合に差はあるものの、30～50歳代では共通して「仕事内容」「労働条件」「職場の人間関係」の割合が高くなっている。60歳代では、「雇用・契約期間満了」が45.0%と最も高かった。

問7 福祉の仕事への興味はどの程度あるか？【当てはまる番号に○】



● 図表7-1 単純集計

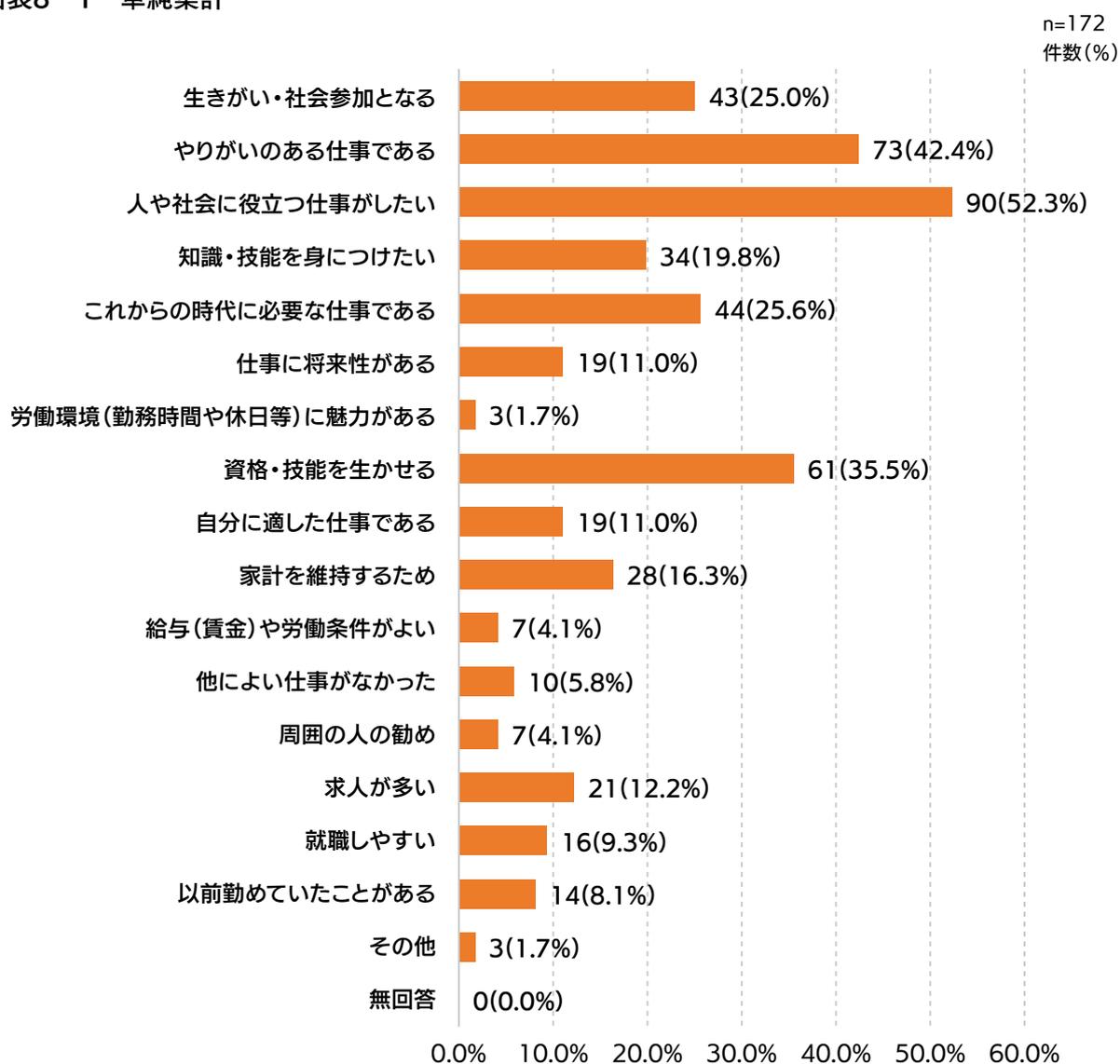


★福祉の仕事への興味を5段階の数字で聞いたところ、「5 興味がある」の割合が64.5%と最も高く、「5」と「4」の回答を合わせると86.6%となっている。

## 問8 福祉分野での就職に関心を持った理由は？【3つ】

1. 生きがい・社会参加となる
2. やりがいのある仕事である
3. 人や社会に役立つ仕事がしたい
4. 知識・技能を身につけたい
5. これからの時代に必要な仕事である
6. 仕事に将来性がある
7. 労働環境（勤務時間や休日等）に魅力がある
8. 資格・技能を生かせる
9. 自分に適した仕事である
10. 家計を維持するため
11. 給与（賃金）や労働条件がよい
12. 他によい仕事がなかった
13. 周囲の人の勧め
14. 求人が多い
15. 就職しやすい
16. 以前勤めていたことがある
17. その他（ )

●図表8-1 単純集計



★福祉分野での就職に関心をもった理由として、「人や社会に役立つ仕事がしたい（52.3%）」が最も高く、ついで「やりがいのある仕事である（42.4%）」、「資格・技能を生かせる（35.5%）」となった。一方、「労働環境（勤務時間や休日等）に魅力がある」「給与（賃金）や労働条件がよい」「周囲の人の勧め」は少ない結果となった。

「その他」回答には、「家族・身内の影響（親の介護など）」「ボランティア活動」などがあつた。

● 図表8-2 性別クロス集計

区分	回答数	生きがい・社会参加となる	やりがいのある仕事である	人や社会に役立つ仕事がしたい	知識・技能を身につけたい	これからの時代に必要な仕事である	仕事に将来性がある	労働環境(勤務時間や休日等)に魅力がある	資格・技能を生かせる	自分に適した仕事である
男性	53	17 32.1%	20 37.7%	36 67.9%	12 22.6%	13 24.5%	4 7.5%	1 1.9%	12 22.6%	6 11.3%
女性	115	24 20.9%	51 44.3%	52 45.2%	21 18.3%	31 27.0%	14 12.2%	2 1.7%	48 41.7%	13 11.3%
その他	2	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%					
無回答	2	1 50.0%	1 50.0%				1 50.0%		1 50.0%	
合計	172	43 25.0%	73 42.4%	90 52.3%	34 19.8%	44 25.6%	19 11.0%	3 1.7%	61 35.5%	19 11.0%

区分	家計を維持するため	給与(賃金)や労働条件がよい	他によい仕事なかった	周囲の人の勤め	求人が多い	就職しやすい	以前勤めていたことがある	その他	無回答
男性	9 17.0%	1 1.9%	4 7.5%	2 3.8%	8 15.1%	5 9.4%	5 9.4%		
女性	18 15.7%	6 5.2%	6 5.2%	5 4.3%	12 10.4%	10 8.7%	9 7.8%	3 2.6%	
その他					1 50.0%				
無回答	1 50.0%					1 50.0%			
合計	28 16.3%	7 4.1%	10 5.8%	7 4.1%	21 12.2%	16 9.3%	14 8.1%	3 1.7%	

割合に差はあるものの男女ともに、「人や社会に役立つ仕事がしたい」の割合が最も高く、ついで「やりがいのある仕事である」の割合が高かった。

3番目に男性は「生きがい・社会参加となる」の割合が高く、女性は「資格・技能を生かせる」の割合が高かった。

● 図表8-3 年齢別クロス集計

区分	回答数	生きがい・社会参加となる	やりがいのある仕事である	人や社会に役立つ仕事がしたい	知識・技能を身につけたい	これからの時代に必要な仕事である	仕事に将来性がある	労働環境(勤務時間や休日等)に魅力がある	資格・技能を生かせる	自分に適した仕事である
20歳未満	3	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%		1 33.3%	1 33.3%		2 66.7%
20歳代	27	3 11.1%	13 48.1%	14 51.9%	3 11.1%	9 33.3%	7 25.9%		11 40.7%	3 11.1%
30歳代	20	8 40.0%	10 50.0%	12 60.0%	3 15.0%	3 15.0%	1 5.0%	1 5.0%	7 35.0%	2 10.0%
40歳代	47	10 21.3%	19 40.4%	23 48.9%	15 31.9%	13 27.7%	4 8.5%	1 2.1%	17 36.2%	6 12.8%
50歳代	53	15 28.3%	25 47.2%	26 49.1%	9 17.0%	15 28.3%	5 9.4%		16 30.2%	6 11.3%
60歳代	20	5 25.0%	5 25.0%	13 65.0%	2 10.0%	4 20.0%	1 5.0%		10 50.0%	
70歳以上	1	1 100.0%								
無回答	1				1 100.0%					
合計	172	43 25.0%	73 42.4%	90 52.3%	34 19.8%	44 25.6%	19 11.0%	3 1.7%	61 35.5%	19 11.0%

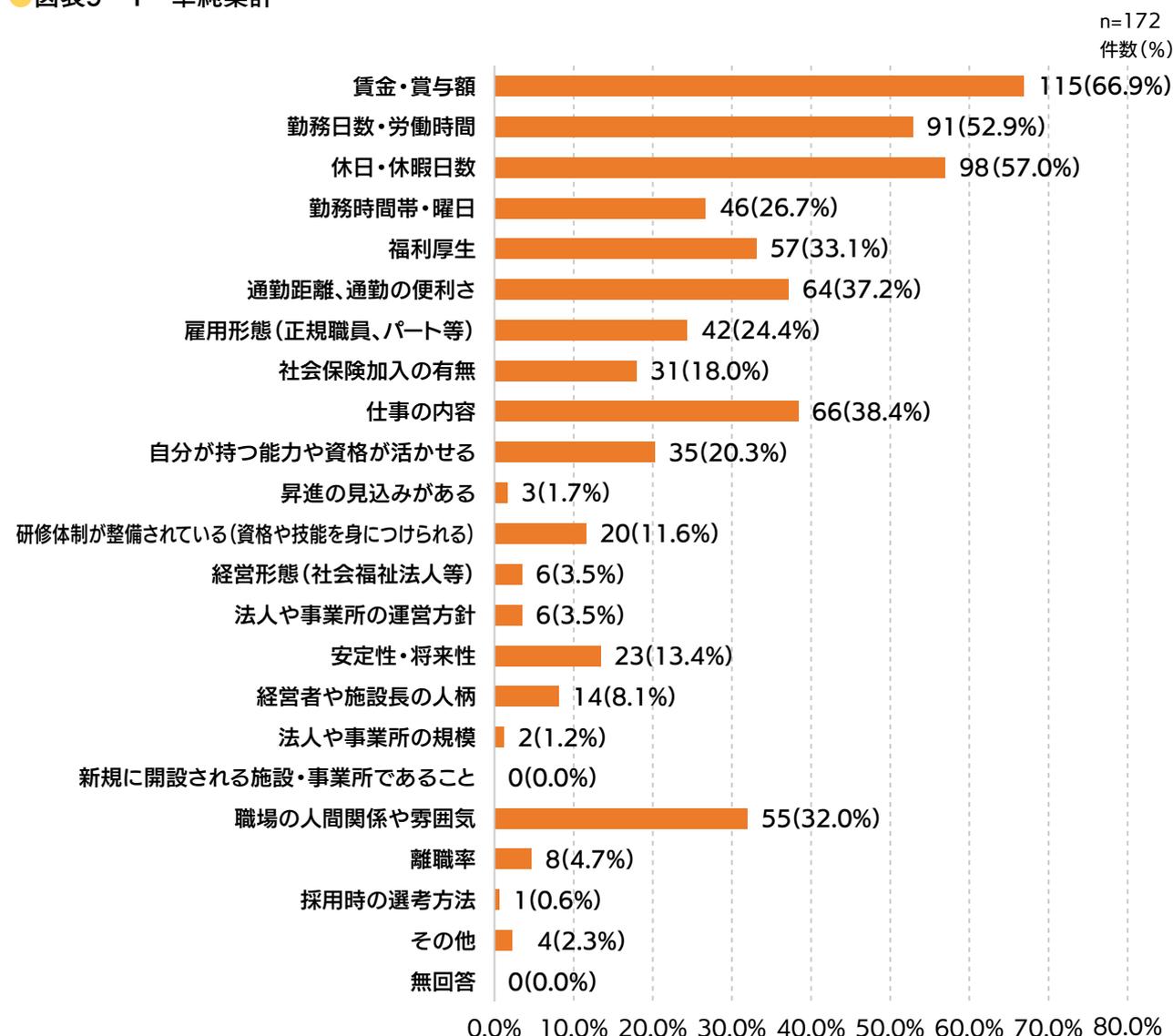
区分	家計を維持するため	給与(賃金)や労働条件がよい	他によい仕事が多かった	周囲の人の勤め	求人が多い	就職しやすい	以前勤めていたことがある	その他	無回答
20歳未満									
20歳代		1 3.7%		1 3.7%	2 7.4%	2 7.4%	3 11.1%	2 7.4%	
30歳代	1 5.0%	1 5.0%			3 15.0%	6 30.0%	1 5.0%		
40歳代	13 27.7%	3 6.4%	5 10.6%	3 6.4%	5 10.6%		4 8.5%		
50歳代	9 17.0%	1 1.9%	4 7.5%	3 5.7%	6 11.3%	6 11.3%	3 5.7%		
60歳代	5 25.0%	1 5.0%	1 5.0%		5 25.0%	2 10.0%	3 15.0%		
70歳以上									
無回答								1 100.0%	
合計	28 16.3%	7 4.1%	10 5.8%	7 4.1%	21 12.2%	16 9.3%	14 8.1%	3 1.7%	

年代別にみると、20～60歳代で「人や社会に役立つ仕事がしたい」の割合が最も高かった（20歳未満は「資格・技能を生かせる」も同率）。

## 問9 就職先を選ぶ上で「重視」することは？【1～22のうち5つまで】

1. 賃金・賞与額
2. 勤務日数・労働時間
3. 休日・休暇日数
4. 勤務時間帯・曜日
5. 福利厚生
6. 通勤距離、通勤の便利さ
7. 雇用形態（正規職員、パート等）
8. 社会保険加入の有無
9. 仕事の内容
10. 自分が持つ能力や資格が活かせる
11. 昇進の見込みがある
12. 研修体制が整備されている（資格や技能を身につけられる）
13. 経営形態（社会福祉法人等）
14. 法人や事業所の運営方針
15. 安定性・将来性
16. 経営者や施設長の人柄
17. 法人や事業所の規模
18. 新規に開設される施設・事業所であること
19. 職場の人間関係や雰囲気
20. 離職率
21. 採用時の選考方法
22. その他（ ）

● 図表9-1 単純集計



★就職先を選ぶ上で「重視」することについては、「賃金・賞与額（66.9%）」が最も高く、ついで「休日・休暇日数（57.0%）」、「勤務日数・労働時間（52.9%）」、「仕事の内容（38.4%）」、「通勤距離、通勤の便利さ（37.2%）」の順となった。

「その他」の回答には、「虐待や不正請求などが無いこと」、「無理に昇進をされない」などがあつた。

● 図表9-2 性別クロス集計

区分	回答数	賃金・賞与額	勤務日数・労働時間	休日・休暇日数	勤務時間帯・曜日	福利厚生	通勤距離、通勤の便利さ	雇用形態(正規職員、パート等)
男性	53	36 67.9%	26 49.1%	30 56.6%	14 26.4%	16 30.2%	19 35.8%	14 26.4%
女性	115	76 66.1%	64 55.7%	64 55.7%	31 27.0%	39 33.9%	45 39.1%	28 24.3%
その他	2	1 50.0%		2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%		
無回答	2	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%		1 50.0%		
合計	172	115 66.9%	91 52.9%	98 57.0%	46 26.7%	57 33.1%	64 37.2%	42 24.4%

区分	社会保険加入の有無	仕事の内容	自分が持つ能力や資格が活かせる	昇進の見込みがある	研修体制が整備されている(資格や技能を身につけられる)	経営形態(社会福祉法人等)	法人や事業所の運営方針	安定性・将来性
男性	8 15.1%	21 39.6%	7 13.2%		6 11.3%		3 5.7%	5 9.4%
女性	20 17.4%	44 38.3%	27 23.5%	3 2.6%	14 12.2%	6 5.2%	3 2.6%	17 14.8%
その他	1 50.0%	1 50.0%						
無回答	2 100.0%		1 50.0%					1 50.0%
合計	31 18.0%	66 38.4%	35 20.3%	3 1.7%	20 11.6%	6 3.5%	6 3.5%	23 13.4%

区分	経営者や施設長の人柄	法人や事業所の規模	新規に開設される施設・事業所であること	職場の人間関係や雰囲気	離職率	採用時の選考方法	その他	無回答
男性	5 9.4%	1 1.9%		16 30.2%	5 9.4%		2 3.8%	
女性	9 7.8%	1 0.9%		38 33.0%	3 2.6%	1 0.9%	2 1.7%	
その他				1 50.0%				
無回答								
合計	14 8.1%	2 1.2%		55 32.0%	8 4.7%	1 0.6%	4 2.3%	

男女別にみると、上位3つ「賃金・賞与額」「休日・休暇日数」「勤務日数・労働時間」が男女ともに同じで、ついで女性は「通勤距離、通勤の便利さ(39.1%)」、男性は「仕事の内容(39.6%)」となった。

● 図表9-3 年齢別クロス集計

区分	回答数	賃金・賞与額	勤務日数・労働時間	休日・休暇日数	勤務時間帯・曜日	福利厚生	通勤距離、通勤の便利さ	雇用形態(正規職員、パート等)
20歳未満	3	1 33.3%		2 66.7%		2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%
20歳代	27	19 70.4%	10 37.0%	19 70.4%	3 11.1%	13 48.1%	3 11.1%	4 14.8%
30歳代	20	13 65.0%	12 60.0%	18 90.0%	7 35.0%	7 35.0%	7 35.0%	7 35.0%
40歳代	47	37 78.7%	30 63.8%	28 59.6%	14 29.8%	17 36.2%	17 36.2%	16 34.0%
50歳代	53	36 67.9%	26 49.1%	25 47.2%	14 26.4%	12 22.6%	26 49.1%	8 15.1%
60歳代	20	8 40.0%	12 60.0%	5 25.0%	8 40.0%	5 25.0%	9 45.0%	6 30.0%
70歳以上	1		1 100.0%	1 100.0%				
無回答	1	1 100.0%				1 100.0%		
合計	172	115 66.9%	91 52.9%	98 57.0%	46 26.7%	57 33.1%	64 37.2%	42 24.4%

区分	社会保険加入の有無	仕事の内容	自分が持つ能力や資格が活かせる	昇進の見込みがある	研修体制が整備されている(資格や技能を身につけられる)	経営形態(社会福祉法人等)	法人や事業所の運営方針	安定性・将来性
20歳未満		2 66.7%	1 33.3%		3 100.0%			1 33.3%
20歳代		15 55.6%	7 25.9%		2 7.4%		1 3.7%	5 18.5%
30歳代	3 15.0%	2 10.0%	5 25.0%		1 5.0%	2 10.0%		4 20.0%
40歳代	10 21.3%	12 25.5%	8 17.0%		6 12.8%	2 4.3%	2 4.3%	7 14.9%
50歳代	9 17.0%	23 43.4%	7 13.2%	3 5.7%	7 13.2%	1 1.9%	2 3.8%	5 9.4%
60歳代	8 40.0%	11 55.0%	7 35.0%			1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%
70歳以上		1 100.0%						
無回答	1 100.0%				1 100.0%			
合計	31 18.0%	66 38.4%	35 20.3%	3 1.7%	20 11.6%	6 3.5%	6 3.5%	23 13.4%

区分	経営者や 施設長の 人柄	法人や 事業所の 規模	新規に 開設される 施設・ 事業所 であること	職場の 人間関係や 雰囲気	離職率	採用時の 選考方法	その他	無回答
20歳未満								
20歳代	1 3.7%	1 3.7%		11 40.7%	1 3.7%		2 7.4%	
30歳代	2 10.0%	1 5.0%		6 30.0%	1 5.0%			
40歳代	3 6.4%			14 29.8%	2 4.3%		2 4.3%	
50歳代	7 13.2%			17 32.1%	2 3.8%			
60歳代				5 25.0%	2 10.0%	1 5.0%		
70歳以上	1 100.0%			1 100.0%				
無回答				1 100.0%				
合計	14 8.1%	2 1.2%		55 32.0%	8 4.7%	1 0.6%	4 2.3%	

年代別の1位をみると、20歳未満は「研修体制が整備されている」、20歳代は「賃金・賞与額」「休日・休暇日数」が同率となり、30歳代は「休日・休暇日数」、40～50歳代は「賃金・賞与額」、60歳代は「勤務日数・労働時間」となった。



● 図表10-3 年齢別クロス集計

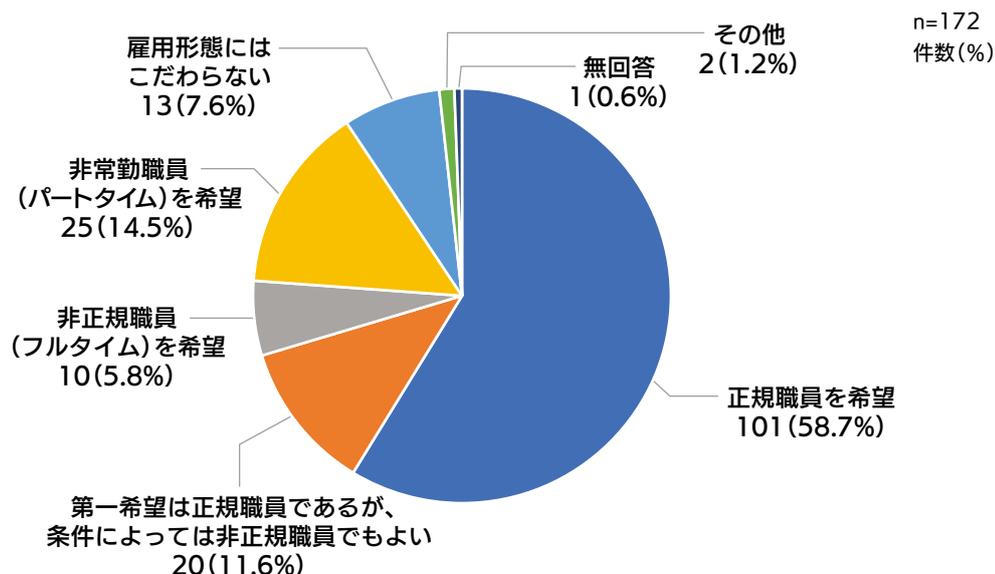
区分	回答数	高齢者 福祉施設	障がい者 福祉施設	保育所	児童福祉 施設(保育 所以外)	社会福祉 協議会	不問	その他	無回答
20歳未満	3	2 66.7%				1 33.3%			
20歳代	27	3 11.1%	6 22.2%	2 7.4%	7 25.9%	5 18.5%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%
30歳代	20	5 25.0%	3 15.0%	3 15.0%	3 15.0%		5 25.0%	1 5.0%	
40歳代	47	23 48.9%	7 14.9%	1 2.1%	8 17.0%	2 4.3%	4 8.5%	2 4.3%	
50歳代	53	21 39.6%	16 30.2%	1 1.9%	2 3.8%	2 3.8%	7 13.2%	3 5.7%	1 1.9%
60歳代	20	8 40.0%	3 15.0%		4 20.0%	2 10.0%	1 5.0%	2 10.0%	
70歳以上	1		1 100.0%						
無回答	1	1 100.0%							
合計	172	63 36.6%	36 20.9%	7 4.1%	24 14.0%	12 7.0%	19 11.0%	9 5.2%	2 1.2%

20歳代は「児童福祉施設（保育所以外）」、30歳代以上は「高齢者福祉施設」の割合が高かった。特に40歳代では48.9%と最も高い割合を示しており、高齢者福祉分野への関心が年代を重ねるごとに強まる傾向が見受けられた。

## 問11 福祉の仕事をする上で希望する雇用形態は？【1つ】

1. 正規職員を希望
2. 第一希望は正規職員であるが、条件によっては非正規職員でもよい  
(※条件: )
3. 非正規職員（フルタイム）を希望
4. 非常勤職員（パートタイム）を希望
5. 雇用形態にはこだわらない
6. その他 ( )

● 図表11-1 単純集計



★希望する雇用形態は「正職員」の割合が最も多く、全体の58.7%を占めた。一方で「第一希望は正規職員であるが、条件によっては非正規職員でもよい」と回答した人の具体的条件としては「フルタイムで月給なら問題ない」「給与に納得できれば良い」「通院などの事情を配慮してもらいたい」といった意見があげられた。

● 図表11-2 性別クロス集計

区分	回答数	正規職員を希望	第一希望は正規職員であるが、条件によっては非正規職員でもよい	非正規職員（フルタイム）を希望	非常勤職員（パートタイム）を希望	雇用形態にはこだわらない	その他	無回答
男性	53	35 66.0%	6 11.3%	3 5.7%	4 7.5%	5 9.4%		
女性	115	65 56.5%	13 11.3%	6 5.2%	21 18.3%	7 6.1%	2 1.7%	1 0.9%
その他	2			1 50.0%		1 50.0%		
無回答	2	1 50.0%	1 50.0%					
合計	172	101 58.7%	20 11.6%	10 5.8%	25 14.5%	13 7.6%	2 1.2%	1 0.6%

男女別にみると、男女ともに「正規職員」を希望する割合が最も高く、ついで男性は「条件によっては非正規職員でもよい（11.3%）」、女性は「非常勤職員（パートタイム）を希望（18.3%）」の割合が高かった。

● 図表11-3 年齢別クロス集計

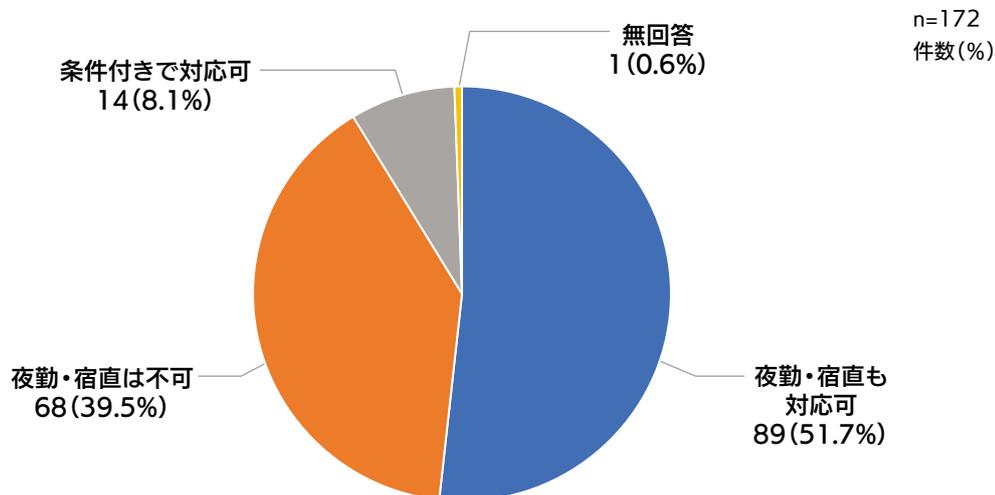
区分	回答数	正規職員を希望	第一希望は正規職員であるが、条件によっては非正規職員でもよい	非正規職員（フルタイム）を希望	非常勤職員（パートタイム）を希望	雇用形態にはこだわらない	その他	無回答
20歳未満	3	3 100.0%						
20歳代	27	24 88.9%	1 3.7%	1 3.7%		1 3.7%		
30歳代	20	10 50.0%	1 5.0%	3 15.0%	3 15.0%	2 10.0%	1 5.0%	
40歳代	47	30 63.8%	7 14.9%	1 2.1%	5 10.6%	4 8.5%		
50歳代	53	29 54.7%	8 15.1%	3 5.7%	8 15.1%	3 5.7%	1 1.9%	1 1.9%
60歳代	20	4 20.0%	3 15.0%	2 10.0%	9 45.0%	2 10.0%		
70歳以上	1					1 100.0%		
無回答	1	1 100.0%						
合計	172	101 58.7%	20 11.6%	10 5.8%	25 14.5%	13 7.6%	2 1.2%	1 0.6%

年代別に見ると、20～50歳代では「正規職員」を希望する人の割合が高い一方で、60歳代では「非常勤職員（パートタイム）」を希望する人が多かった。

## 問12 勤務形態に、夜勤・宿直がある場合の対応は？【1つ】

1. 夜勤・宿直も対応可    2. 夜勤・宿直は不可    3. 条件付きで対応可（※条件：    ）

● 図表12-1 単純集計



★夜勤・宿直の対応について、「夜勤・宿直も対応可」が51.7%で、「夜勤・宿直は不可」が39.5%となった。「条件付きで対応可」と回答した人の具体的な条件としては、「体力面を考慮した回数や時間帯」「業務や時間に見合った給与」「子どもが成長してから」「休憩を別部屋で取りたい」といった意見があげられた。

● 図表12-2 性別クロス集計

区分	回答数	夜勤・宿直も対応可	夜勤・宿直は不可	条件付きで対応可	無回答
男性	53	32 60.4%	17 32.1%	4 7.5%	
女性	115	54 47.0%	50 43.5%	10 8.7%	1 0.9%
その他	2	2 100.0%			
無回答	2	1 50.0%	1 50.0%		
合計	172	89 51.7%	68 39.5%	14 8.1%	1 0.6%

男女別にみると、男性に比べ女性で「不可」と答えている割合が高い。

●図表12-3 年齢別クロス集計

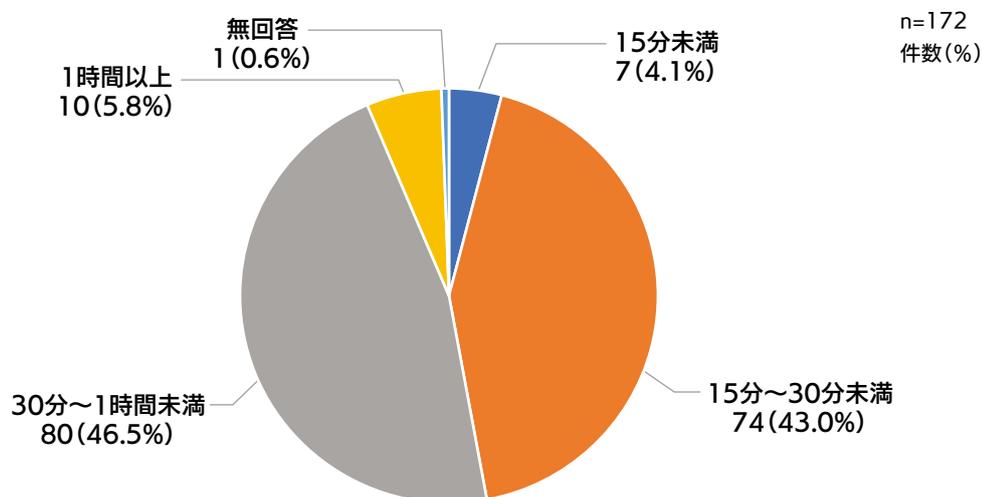
区分	回答数	夜勤・宿直 も対応可	夜勤・宿直 は不可	条件付きで 対応可	無回答
20歳未満	3	3 100.0%			
20歳代	27	22 81.5%	5 18.5%		
30歳代	20	11 55.0%	8 40.0%	1 5.0%	
40歳代	47	25 53.2%	16 34.0%	5 10.6%	1 2.1%
50歳代	53	19 35.8%	26 49.1%	8 15.1%	
60歳代	20	8 40.0%	12 60.0%		
70歳以上	1		1 100.0%		
無回答	1	1 100.0%			
合計	172	89 51.7%	68 39.5%	14 8.1%	1 0.6%

年代別にみると、「対応可」と答えた割合は20歳代が最も高く、50歳代以上では「不可」の割合が「対応可」を上回っている。

### 問13 希望する（許容できる）通勤時間は？【1つ】

1. 15分未満    2. 15分～30分未満    3. 30分～1時間未満    4. 1時間以上

● 図表13-1 単純集計



★希望する（許容できる）通勤時間は、「30分～1時間未満」が46.5%で、ついで「15分～30分未満」が43.0%となった。全体の93.6%が1時間以内を希望していることがわかった。

● 図表13-2 性別クロス集計

区分	回答数	15分未満	15分～30分未満	30分～1時間未満	1時間以上	無回答
男性	53	2 3.8%	18 34.0%	27 50.9%	5 9.4%	1 1.9%
女性	115	4 3.5%	53 46.1%	53 46.1%	5 4.3%	
その他	2	1 50.0%	1 50.0%			
無回答	2		2 100.0%			
合計	172	7 4.1%	74 43.0%	80 46.5%	10 5.8%	1 0.6%

男女別にみると、女性のほうが男性よりも短い通勤時間を希望する割合が高い傾向が見られた。

● 図表13-3 年齢別クロス集計

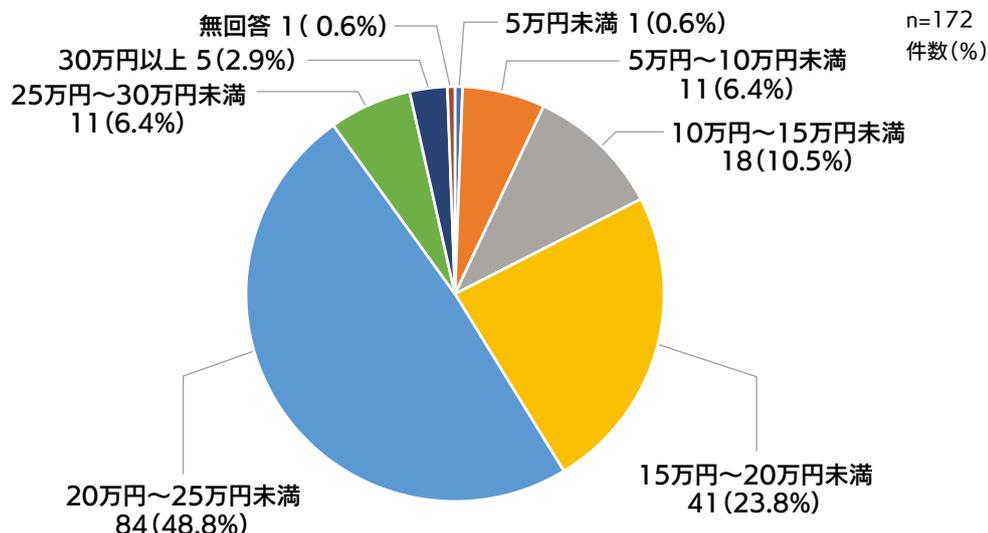
区分	回答数	15分未満	15分～30分 未満	30分～ 1時間未満	1時間以上	無回答
20歳未満	3		1 33.3%		1 33.3%	1 33.3%
20歳代	27	3 11.1%	11 40.7%	12 44.4%	1 3.7%	
30歳代	20	1 5.0%	13 65.0%	6 30.0%		
40歳代	47		15 31.9%	29 61.7%	3 6.4%	
50歳代	53	3 5.7%	28 52.8%	18 34.0%	4 7.5%	
60歳代	20		5 25.0%	14 70.0%	1 5.0%	
70歳以上	1			1 100.0%		
無回答	1		1 100.0%			
合計	172	7 4.1%	74 43.0%	80 46.5%	10 5.8%	1 0.6%

年代別にみると、30歳代と50歳代で「15分～30分未満」を希望する割合が最も高く、他の年代では「30分～1時間未満」の割合が最も高かった。

## 問14 希望する賃金・月（手取り）は？【1つ】

1. 5万円未満    2. 5万円～10万円未満    3. 10万円～15万円未満    4. 15万円～20万円未満  
5. 20万円～25万円未満    6. 25万円～30万円未満    7. 30万円以上

● 図表14-1 単純集計



★希望する賃金については「20万円～25万円未満」が48.8%と最も多く、ついで「15万円～20万円未満（23.8%）」、「10万円～15万円未満（10.5%）」となった。

● 図表14-2 性別クロス集計

区分	回答数	5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円～25万円未満	25万円～30万円未満	30万円以上	無回答
男性	53		4 7.5%	5 9.4%	15 28.3%	20 37.7%	6 11.3%	3 5.7%	
女性	115		7 6.1%	13 11.3%	24 20.9%	63 54.8%	5 4.3%	2 1.7%	1 0.9%
その他	2	1 50.0%				1 50.0%			
無回答	2				2 100.0%				
合計	172	1 0.6%	11 6.4%	18 10.5%	41 23.8%	84 48.8%	11 6.4%	5 2.9%	1 0.6%

男女別にみると、女性に比べ男性の方が高い賃金を希望している割合が高い。

● 図表14-3 年齢別クロス集計

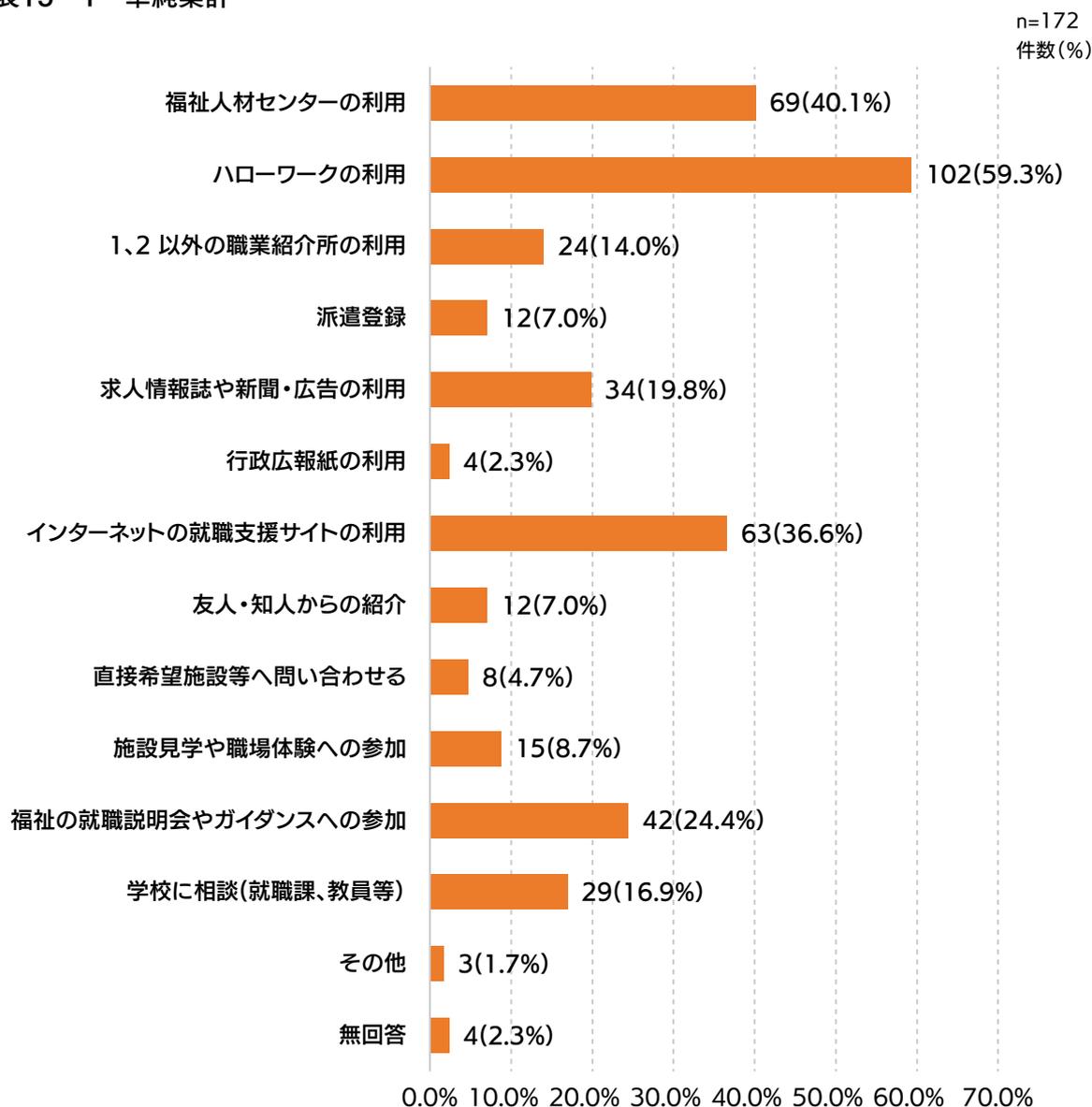
区分	回答数	5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円～25万円未満	25万円～30万円未満	30万円以上	無回答
20歳未満	3				2 66.7%		1 33.3%		
20歳代	27				6 22.2%	19 70.4%	1 3.7%	1 3.7%	
30歳代	20	1 5.0%		4 20.0%	3 15.0%	10 50.0%	2 10.0%		
40歳代	47		4 8.5%	4 8.5%	10 21.3%	23 48.9%	3 6.4%	3 6.4%	
50歳代	53		3 5.7%	4 7.5%	14 26.4%	26 49.1%	4 7.5%	1 1.9%	1 1.9%
60歳代	20		4 20.0%	5 25.0%	6 30.0%	5 25.0%			
70歳以上	1			1 100.0%					
無回答	1					1 100.0%			
合計	172	1 0.6%	11 6.4%	18 10.5%	41 23.8%	84 48.8%	11 6.4%	5 2.9%	1 0.6%

年代別にみると、20～50歳代以ては「20万円～25万円未満」の割合が最も高く、60歳代は「5万円～25万円未満」の範囲で均衡している。

## 問15 | どのような就職活動を行っているか？（いくつでも可）

1. 福祉人材センターの利用
2. ハローワークの利用
3. 1、2 以外の職業紹介所の利用
4. 派遣登録
5. 求人情報誌や新聞・広告の利用
6. 行政広報紙の利用
7. インターネットの就職支援サイトの利用
8. 友人・知人からの紹介
9. 直接希望施設等へ問い合わせる
10. 施設見学や職場体験への参加
11. 福祉の就職説明会やガイダンスへの参加
12. 学校に相談（就職課、教員等）
13. その他（

● 図表15-1 単純集計



★就職活動の方法については、「ハローワークの利用」が59.3%と最も割合が高く、ついで「福祉人材センターの利用（40.1%）」、「インターネットの就職支援サイトの利用（36.6%）」となった。

● 図表15-2 性別クロス集計

区分	回答数	福祉人材センターの利用	ハローワークの利用	1、2以外の職業紹介所の利用	派遣登録	求人情報誌や新聞・広告の利用	行政広報紙の利用	インターネットの就職支援サイトの利用
男性	53	31 58.5%	37 69.8%	11 20.8%	2 3.8%	11 20.8%	1 1.9%	18 34.0%
女性	115	37 32.2%	62 53.9%	13 11.3%	8 7.0%	22 19.1%	3 2.6%	42 36.5%
その他	2		1 50.0%		1 50.0%	1 50.0%		2 100.0%
無回答	2	1 50.0%	2 100.0%		1 50.0%			1 50.0%
合計	172	69 40.1%	102 59.3%	24 14.0%	12 7.0%	34 19.8%	4 2.3%	63 36.6%

区分	友人・知人からの紹介	直接希望施設等へ問い合わせる	施設見学や職場体験への参加	福祉の就職説明会やガイダンスへの参加	学校に相談(就職課、教員等)	その他	無回答
男性	2 3.8%	1 1.9%	2 3.8%	14 26.4%	5 9.4%		2 3.8%
女性	9 7.8%	6 5.2%	13 11.3%	27 23.5%	24 20.9%	3 2.6%	2 1.7%
その他				1 50.0%			
無回答	1 50.0%	1 50.0%					
合計	12 7.0%	8 4.7%	15 8.7%	42 24.4%	29 16.9%	3 1.7%	4 2.3%

男女別にみると、男女ともに「ハローワークの利用」の割合が最も高く、ついで男性が「福祉人材センターの利用（58.5%）」、女性が「インターネットの就職支援サイトの利用（36.5%）」となった。

● 図表15-3 年齢別クロス集計

区分	回答数	福祉人材センターの利用	ハローワークの利用	1、2以外の職業紹介所の利用	派遣登録	求人情報誌や新聞・広告の利用	行政広報紙の利用	インターネットの就職支援サイトの利用
20歳未満	3	1 33.3%						1 33.3%
20歳代	27	5 18.5%	6 22.2%	1 3.7%		3 11.1%	2 7.4%	6 22.2%
30歳代	20	8 40.0%	11 55.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%		10 50.0%
40歳代	47	30 63.8%	32 68.1%	8 17.0%	1 2.1%	10 21.3%		12 25.5%
50歳代	53	17 32.1%	37 69.8%	11 20.8%	8 15.1%	13 24.5%	2 3.8%	24 45.3%
60歳代	20	7 35.0%	16 80.0%	3 15.0%	2 10.0%	5 25.0%		10 50.0%
70歳以上	1	1 100.0%						
無回答	1					1 100.0%		
合計	172	69 40.1%	102 59.3%	24 14.0%	12 7.0%	34 19.8%	4 2.3%	63 36.6%

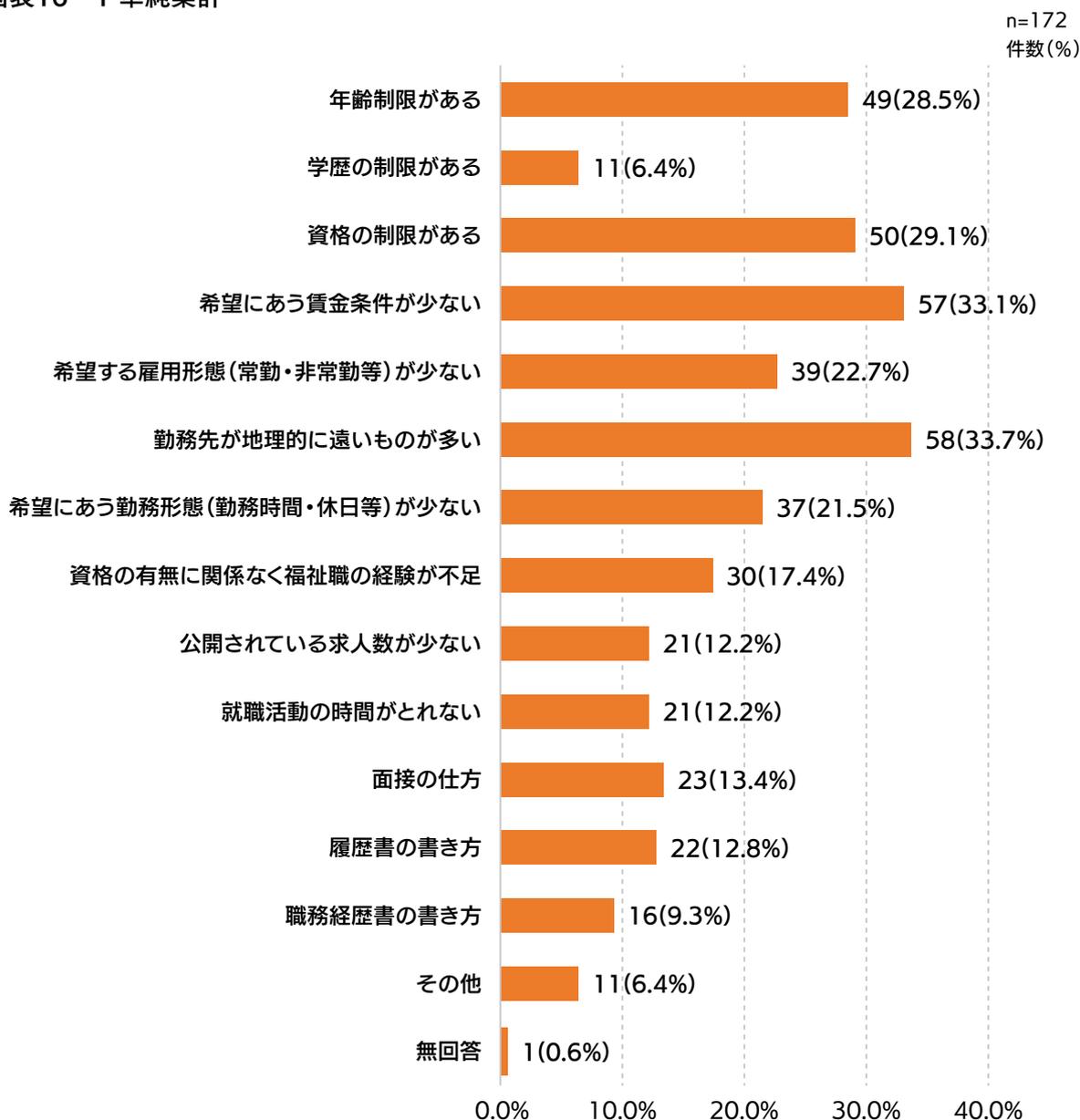
区分	友人・知人からの紹介	直接希望施設等へ問い合わせる	施設見学や職場体験への参加	福祉の就職説明会やガイダンスへの参加	学校に相談(就職課、教員等)	その他	無回答
20歳未満	1 33.3%			2 66.7%	2 66.7%		1 33.3%
20歳代	2 7.4%	1 3.7%	6 22.2%	12 44.4%	17 63.0%	2 7.4%	
30歳代	2 10.0%	3 15.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%		1 5.0%
40歳代	1 2.1%	2 4.3%	3 6.4%	10 21.3%	3 6.4%		
50歳代	4 7.5%	1 1.9%	3 5.7%	9 17.0%	3 5.7%		2 3.8%
60歳代	2 10.0%		2 10.0%	8 40.0%	2 10.0%	1 5.0%	
70歳以上		1 100.0%					
無回答							
合計	12 7.0%	8 4.7%	15 8.7%	42 24.4%	29 16.9%	3 1.7%	4 2.3%

年代別に見ると、「ハローワークの利用」が全年代で高い割合となっているが、特に40歳代以上で顕著である。20歳代では「学校に相談」や「福祉の就職説明会やガイダンスへの参加」の割合が高かった。

## 問16 現在、就職活動を行うにあたり困っている（いた）ことは？【3つ】

1. 年齢制限がある
2. 学歴の制限がある
3. 資格の制限がある
4. 希望にあう賃金条件が少ない
5. 希望する雇用形態（常勤・非常勤等）が少ない
6. 勤務先が地理的に遠いものが多い
7. 希望にあう勤務形態（勤務時間・休日等）が少ない
8. 資格の有無に関係なく福祉職の経験が不足
9. 公開されている求人数が少ない
10. 就職活動の時間がとれない
11. 面接の仕方
12. 履歴書の書き方
13. 職務経歴書の書き方
14. その他（ ）

● 図表16-1 単純集計



★就職活動するうえで困っていることは、「勤務先が地理的に遠いものが多い（33.7%）」の割合が最も高く、ついで「希望にあう賃金条件が少ない（33.1%）」、「資格の制限がある（29.1%）」となった。「その他」の回答には、「日勤中心の仕事が少ない」「社会福祉協議会の情報が少ない」「運転免許を必須とする求人が多い」「福祉職をするかの迷っている」などの回答があった。

● 図表16-2 性別クロス集計

区分	回答数	年齢制限がある	学歴の制限がある	資格の制限がある	希望にあう賃金条件が少ない	希望する雇用形態（常勤・非常勤等）が少ない	勤務先が地理的に遠いものが多い	希望にあう勤務形態（勤務時間・休日等）が少ない
男性	53	18 34.0%	2 3.8%	15 28.3%	25 47.2%	13 24.5%	12 22.6%	12 22.6%
女性	115	30 26.1%	9 7.8%	34 29.6%	29 25.2%	26 22.6%	44 38.3%	24 20.9%
その他	2	1 50.0%			1 50.0%		1 50.0%	1 50.0%
無回答	2			1 50.0%	2 100.0%		1 50.0%	
合計	172	49 28.5%	11 6.4%	50 29.1%	57 33.1%	39 22.7%	58 33.7%	37 21.5%

区分	資格の有無に関係なく福祉職の経験が不足	公開されている求人数が少ない	就職活動の時間がとれない	面接の仕方	履歴書の書き方	職務経歴書の書き方	その他	無回答
男性	11 20.8%	6 11.3%	6 11.3%	4 7.5%	4 7.5%	5 9.4%	3 5.7%	
女性	19 16.5%	15 13.0%	15 13.0%	18 15.7%	17 14.8%	11 9.6%	8 7.0%	1 0.9%
その他								
無回答				1 50.0%	1 50.0%			
合計	30 17.4%	21 12.2%	21 12.2%	23 13.4%	22 12.8%	16 9.3%	11 6.4%	1 0.6%

男女別にみると、男性は「希望にあう賃金条件が少ない（47.2%）」と答えた割合が最も高く、女性は「勤務先が地理的に遠いものが多い（38.3%）」と答えた割合が最も高かった。

● 図表16-3 年齢別クロス集計

区分	回答数	年齢制限がある	学歴の制限がある	資格の制限がある	希望にあう賃金条件が少ない	希望する雇用形態（常勤・非常勤等）が少ない	勤務先が地理的に遠いものが多い	希望にあう勤務形態（勤務時間・休日等）が少ない
20歳未満	3		1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%			
20歳代	27	1 3.7%		9 33.3%	6 22.2%	2 7.4%	7 25.9%	4 14.8%
30歳代	20	4 20.0%	2 10.0%	2 10.0%	9 45.0%	8 40.0%	11 55.0%	8 40.0%
40歳代	47	14 29.8%	6 12.8%	15 31.9%	23 48.9%	11 23.4%	9 19.1%	11 23.4%
50歳代	53	14 26.4%	2 3.8%	17 32.1%	16 30.2%	15 28.3%	22 41.5%	11 20.8%
60歳代	20	14 70.0%		5 25.0%	2 10.0%	3 15.0%	9 45.0%	2 10.0%
70歳以上	1	1 100.0%		1 100.0%				1 100.0%
無回答	1	1 100.0%						
合計	172	49 28.5%	11 6.4%	50 29.1%	57 33.1%	39 22.7%	58 33.7%	37 21.5%

区分	資格の有無に関係なく福祉職の経験が不足	公開されている求人数が少ない	就職活動の時間がとれない	面接の仕方	履歴書の書き方	職務経歴書の書き方	その他	無回答
20歳未満		1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%		
20歳代	9 33.3%	4 14.8%	4 14.8%	10 37.0%	8 29.6%	1 3.7%	4 14.8%	
30歳代	1 5.0%	2 10.0%	2 10.0%	1 5.0%	3 15.0%	3 15.0%	1 5.0%	
40歳代	7 14.9%	5 10.6%	2 4.3%	7 14.9%	6 12.8%	7 14.9%	2 4.3%	
50歳代	7 13.2%	5 9.4%	9 17.0%	4 7.5%	3 5.7%	2 3.8%	2 3.8%	1 1.9%
60歳代	5 25.0%	4 20.0%	2 10.0%		1 5.0%	2 10.0%	2 10.0%	
70歳以上								
無回答	1 100.0%							
合計	30 17.4%	21 12.2%	21 12.2%	23 13.4%	22 12.8%	16 9.3%	11 6.4%	1 0.6%

年代別にみると、20歳代では「面接の仕方（37.0%）」の割合が最も高く、40歳代では「希望にあう賃金条件が少ない（48.9%）」があげられた。また30、50歳代では「勤務先が地理的に遠いものが多い」、60歳代は「年齢制限がある」が最も高い割合となった。

